

## 「ワクチンパスポート・トラベルパスを巡る最新の動向」

### (第72回運輸政策セミナー) オンライン開催のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび運輸総合研究所におきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「運輸政策セミナー」をオンラインにて開催することとなりました。

つきましては、ご関心をお持ちの皆様におかれましては、ご参加を賜りますようお願い申し上げます。また、ご関心をお持ちの方々に広くご周知頂ければ幸いです。

ご参加に当たりましては、大変恐縮ですが、申込み専用 URL からお申込み頂きますようお願い申し上げます。

敬具

#### 記

#### ○第72回運輸政策セミナー（オンライン配信）

日 時：2021年6月25日（金）10：30～12：30

会 場：オンライン（Zoom ウェビナー）

テーマ：ワクチンパスポート・トラベルパスを巡る最新の動向

#### 1. 特別報告：新型コロナウイルス感染症に関する米国の現状

報告者： 中川 哲宏 ワシントン国際問題研究所次長

#### 2. 講演

テーマ（1） パンデミックにおける海外渡航のリスク対策

講 師： 大越 裕文 一般社団法人日本渡航医学会理事

テーマ（2） コモンパス等のデジタル健康証明書の現状

講 師： 藤田 卓仙 世界経済フォーラム第四次産業革命日本センタープロジェクト長  
慶應義塾大学医学部特任准教授

テーマ（3） 航空業界の視点から見たデジタル健康証明とその統合的ソリューション

講 師： 藤村 修一 一般財団法人運輸総合研究所客員研究員  
全日本空輸株式会社常勤顧問

#### 3. パネルディスカッションおよび質疑応答

コーディネーター：山内弘隆 一般財団法人運輸総合研究所所長

パネリスト：講演者・報告者

(概要)

新型コロナウイルス感染症のワクチン接種を証明する「ワクチンパスポート」や PCR 検査による陰性等を証明する「トラベルパス」については、特に国際間移動時の手続円滑化に大きく資するため、EU の 7 月 1 日制度化等欧米で取組が進んでおり、我が国でもワクチンパスポートの政府内検討や大手航空会社参加のトラベルパス実証実験等が行われている。

しかしながら、国内での使用等に関しワクチン未接種者差別につながる等の懸念や、システムの正確性・互換性確保等の課題は内外で残されており、特にワクチン接種や安価・手軽な検査が普及途上にある我が国においては、一般の企業や国民レベルでの情報の共有やオープンな検討・議論が十分になされているとは言えない状況である。

そこで、本セミナーでは、中川次長より米国の最新状況報告を受けるとともに、大越講師よりワクチン・PCR検査と国際間移動の現状等について、藤田講師より ICT を用いた「デジタル健康証明書」の最新状況について、藤村講師より航空業界の視点からの最新の対応と見解についてそれぞれご講演いただき、これらを踏まえ、今後予想される動きやあるべき姿について議論を行うこととする。

参加費：無料

お申込み：下記の URL よりお申し込みください

<https://krs.bz/jterc/m/semi210625>

(申込期限：6月23日(水)まで)



※お申し込み頂いた方には、6月24日(木)に視聴用 URL をご送付いたします。

※既にご案内済みである6月30日(水)開催予定の「鉄道事業におけるカーボンニュートラル(脱炭素社会)に向けた取組み(仮)」は第73回に繰り下がっておりますのでご注意ください。

## 1. 特別報告：新型コロナウイルス感染症に関する米国の現状

報告者： 中川 哲宏 ワシントン国際問題研究所次長

(概要)

米国における新型コロナウイルス感染症によるパンデミックの状況を、最新の情報を基に解説する。特に、諸外国に先駆けて普及が進む同国のワクチン接種等をめぐる動向と、ワクチン接種等の普及に伴い緩和されてきた行動規制の状況、そして、これらを踏まえた人の移動需要の実態を、現地居住者としての実体験も踏まえつつ紹介する。



(経歴)

2002年に国土交通省入省後、航空、海事、公共交通活性化、観光、物流、都市計画等に関する制度・政策の企画立案に従事。2010年から2013年まで、在シンガポール日本国大使館にてインフラ海外展開、インバウンド・プロモーション等に従事。2020年7月より運輸総合研究所に向向し、同年8月よりワシントン国際問題研究所に赴任。

慶應義塾大学法学部卒業、UCバークレー法学修士号(LL.M.)。2008年よりニューヨーク州弁護士協会所属。

## 2. 講演

### テーマ（1） パンデミックにおける海外渡航のリスク対策

講師： 大越 裕文 一般社団法人日本渡航医学会理事

#### （概要）

多くの国は、新型コロナによるパンデミックの水際対策として、渡航者に対してPCR検査による非感染証明書を求めている。現在、ワクチン接種証明についても検討がなされてきている。そこで問題となるのが紙ベースの証明書である。渡航者、医療機関、空港関係者等の大きな負担となっている。また、偽造、情報セキュリティ上の問題もある。その解決策として、早急に実現が求められているのが証明書のデジタル化である。その在り方、課題について紹介する。



#### （経歴）

1981年 東京慈恵会医科大学卒業  
1983年 研修後、同大内科助手  
1989年 医学博士号取得  
1990年～91年 ワシントン大学リサーチフェロー  
1994年より日本航空(株)健康管理室主席医師、 AED 機内搭載プロジェクト担当  
2008年より 航仁会西新橋クリニック理事長、  
出光興産、共同通信、ファーストリテーリング他非常勤産業医

#### 社会的活動

日本渡航医学会理事、同学会トラベルクリニック部会長、  
日本産業衛生学会代議員、経済産業省新型ウイルス検査センター運営委員会委員  
観光庁インバウンド受入実証事業準備会合委員  
日本旅行業協会 デジタルヘルスパスポートワーキンググループ アドバイザー

#### 著書

診療所で診るトラベルメディシン 医事新報社 2020年  
職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド 日本渡航医学会、日本産業衛生学会 2020年より 執筆メンバー  
専門分野：渡航医学、航空医学、産業保健

### テーマ（2） コモンパス等のデジタル健康証明書の現状

講師： 藤田 卓仙 世界経済フォーラム第四次産業革命日本センタープロジェクト長  
慶應義塾大学医学部特任准教授

#### （概要）

COVID-19へのデジタルを用いた対応策として、接触確認を行うアプリの他、様々な情報を用いて、感染リスクを評価し、「デジタル健康証明」を行おうとする取り組みが世界中で検討されている。2020年の早い段階から、中国においては「健康パスポート」の運用がされており、欧米においてもPCR検査結果やワクチン接種歴を示す、CommonPassやIATA Travel Pass等の国際的な往来のためのデジタル健康証明書の取り組みが始まっている。本講演ではCommonPassに関する状況を中心にこれらの現状につき報告を行う。



(経歴)

2006 東京大学医学部医学科卒業  
2008 東京大学大学院法学政治学研究科法曹養成専攻 (2011 年修了)  
2011 慶應義塾大学医学部 特任研究員、(2012～) 同特任助教  
2015 名古屋大学経済学研究科 CBM ヘルスケアイノベーション寄附講座 (アイカ工業) 寄付講座准教授、慶應義塾大学 システム医療研究開発センター 訪問准教授  
2017 国立国際医療研究センター グローバルヘルス政策研究センター 特任研究員  
2018 現職 (世界経済フォーラム C4IRJ プロジェクト長、慶應義塾大学医学部特任准教授)  
内閣官房 接触確認アプリに関する有識者検討会合 委員  
内閣官房デジタル市場競争本部 Trusted Web 推進協議会 委員 等  
主な著書 (いずれも共著) : 「薬価の経済学」 (日本経済新聞社、2018) 「認知症と民法」 (勁草書房、2018) 「認知症と情報」 (同、2019) 「認知症と医療」 (同、2020)、「次世代医療 AI : 生体信号を介した AI との融合」 (コロナ社、2021)

テーマ (3) **航空業界の視点から見たデジタル健康証明とその統合的ソリューション**

講師 : 藤村 修一 一般財団法人運輸総合研究所客員研究員

全日本空輸株式会社常勤顧問

(概要)


わが国においても、現在新型コロナウイルスワクチンの接種が着々と進められているところであるが、国際航空の本格的再開に向け、ワクチン接種証明およびそれに代わる検査陰性証明、抗体陽性証明をデジタル化して格納するデジタル健康証明の導入が課題となっている。本講演では、各国・地域における導入状況を確認するとともに、航空会社にとって必須の統合的ソリューションについて IATA トラベルパスを例に見ることにする。



(経歴)

東京大学工学部計数工学科卒業後、1980 年ジェットエンジンの整備士として全日空に入社。フルブライト奨学生としてマサチューセッツ工科大学経営学部留学し、1987 年に経営学修士号を取得。その後、全日空にて、ネットワーク戦略部長 (2005-2009)、執行役員ロンドン支店長 (2009-2012)、取締役専務執行役員国際提携担当 (2018-2020) など数々の要職を歴任。現在は、全日空常勤顧問、スターアライアンスのアライアンス運営委員会議長、フルブライト日本同窓会副会長、日本台湾交流協会評議員を兼務している。

2014 年に HBS Publishing より出版されたハーバード・ビジネス・スクールの教材「ANA(A)」および「ANA(B)」では、全日空を国内線航空会社から国際線航空会社へ変革する主人公として登場している。

運輸総合研究所は日本財団の助成を受けて活動を行っております。 Supported by  日本 THE NIPPON 財団 FOUNDATION

お問い合わせ : 国際部 (担当 : 黒川) TEL : 03-5470-8420

E-mail : [collo@jttri.or.jp](mailto:collo@jttri.or.jp)

HP : <https://www.jttri.or.jp/>

## **The 72nd Transport Policy Seminar: “The Latest Trends in Vaccine Passports and Travel Passes” Overview**

“Vaccine Passports,” which certify vaccination against new COVID-19 infections, and “Travel Passes,” which certify negative results of such tests as PCR, are being implemented in Europe and the U.S., such as the EU’s July 1 systemization, for they contribute greatly to facilitating travel procedures, especially international ones. In Japan as well, the government has been considering the utilization of vaccine passports, and travel passes demonstration experiment has been underway with the participation of major airlines.

However, there are still concerns that the use of such systems in Japan may lead to discrimination against the unvaccinated, and issues such as ensuring the accuracy and compatibility of the systems remain both at home and abroad. In particular, in Japan, where vaccination and inexpensive/easy testing are still in the process of widespread use, it cannot be said that there has been sufficient information-sharing, open discussion and debate throughout our society.

In this seminar, we will receive a report on the latest situation in the U.S. from Mr. Nakagawa, a lecture on the current status of vaccine and PCR testing in case of international movement from Dr. Okoshi, a lecture on the latest status of “digital health certificates” using ICT from Dr. Fujita, and a lecture on the latest responses and views in terms of the airline industry from Mr. Fujimura. Based on these presentations, we will have a discussion on the expected responses and the ideal situation in the future.



## The 72nd Transport Policy Seminar (Online)

### 1. Outline of the seminar

Date and time: Friday, June 25, 2021, 10:30 - 12:30

Venue: Online (Zoom webinar)

Theme: The Latest Trends in Vaccine Passports and Travel Passes

Contents:

- ① Special Report: Current Status of COVID-19 in the United States  
Reporter: Tetsuhiro NAKAGAWA, Senior Representative, Japan International Transport and Tourism Institute, USA (JITTI-USA)
- ② Lecture  
Theme (1) The Possible Solution for the Safe International Travel During the Pandemic  
Lecturer: Hirofumi OKOSHI, Director, Japanese Society of Travel and Health (JSTH)  
Theme (2) Current Status of Digital Health Certificates; CommonPass, etc.  
Lecturer: Takanori FUJITA, Project Lead, World Economic Forum Centre for the Fourth Industrial Revolution Japan / Project Associate Professor, Keio University School of Medicine  
Theme (3) Digital Health Certificates and Integral Solutions for the Airline Industry  
Lecturer: Shuichi FUJIMURA, Visiting Research Fellow, Japan Transport and Tourism Research Institute (JTTRI) / Full-time Advisor, All Nippon Airways Co.
- ③ Panel discussion and Q&A session  
Coordinator: Hirotaka YAMAUCHI, President for Research, JTTRI  
Panelists: Reporter and Lecturers

## Outline of the lecture and biography of the reporter and lecturers

### ① Special Report: **Current Status of COVID-19 in the United States**

Reporter: Tetsuhiro Nakagawa, Senior Representative, JITTI-USA

(Summary)

In the U.S., after the rapid spread of COVID-19 during the winter season, the number of new infections and deaths decreased significantly due to the acquisition of natural immunity and the spread of vaccines, and this trend has continued to the present. As a result, restrictions on economic activities have been lifted in most states around May and June, and the movement of people has become more active. This presentation will explain the current situation of the pandemic in the U.S. based on the latest data, analysis and pictures.



(Biography)

After joining the Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism (MLIT) in 2002, he was involved in the planning of systems and policies related to aviation, maritime, land transportation, tourism, logistics, urban planning, etc. From 2010 to 2013, he worked for the Embassy of Japan in Singapore, where he was involved in overseas development of infrastructure and promotion of inbound tourism. In August 2020, he started working at his current post at JITTI-USA.

He received his B.A. in Law from Keio University and his LL.M. from UC Berkeley, and has been a member of the New York State Bar Association since 2008.

### ② Lecture

Theme (1) **The Possible Solution for the Safe International Travel During the Pandemic**

Lecturer: Hirofumi OKOSHI, Director, JSTH

(Summary)

Many countries require a certificate of non-



infection by PCR test for travelers, as a quarantine measure against COVID-19 pandemic. Vaccination certificates are also under consideration. The problem that arises is the paper-based certificate, which is a huge burden for travelers, medical institutions, and airport personnel. In addition, there are problems of forgery and information security. As a solution to them, the digitization of certificates is urgently required. This will introduce the current status and issues.

(Biography)

1981 Graduated from The Jikei University School of Medicine

1983 Research Assistant, Department of Internal Medicine,  
University of Tokyo

1989 Received M.D. degree

1990-91 Research Fellow, University of Washington

Chief physician, Health Management Office, Japan Airlines  
Corporation since 1994, in charge of AED in-flight installation  
project

Since 2008, he has been the chairman of the board of directors  
of Kojinkai Nishi-Shimbashi Clinic.

Part-time industrial physician for Idemitsu Kosan, Kyodo News,  
Fast Retailing, etc.

(Social Activities)

Director of the Japan Society of Travel Medicine, Chairman of the  
Travel Clinic Section of the same society, and

Delegate to the Japan Society for Occupational Health, Member  
of the Steering Committee of the New Virus Testing Center,  
Ministry of Economy, Trade and Industry

Member of the Preparatory Meeting for the Japan Tourism  
Agency's Inbound Receiving Demonstration Project

Advisor, Digital Health Passport Working Group, Japan Association  
of Travel Agents

(Publications)

Travel Medicine in the Clinic, Ijishinposha, 2020.

A guide to countermeasures against novel coronavirus infections  
for the workplace of JSTH and The Japanese Society for



Occupational Health, from 2020 Writing member  
(Area of expertise) travel and aviation medicine, occupational health

**Theme (2) Current Status of Digital Health Certificates;  
CommonPass, etc.**

Lecturer: Takanori FUJITA, Project Lead, World  
Economic Forum Centre for the Fourth Industrial  
Revolution Japan / Project Associate Professor,  
Keio University School of Medicine



(Summary)

As an ICT-used countermeasure to COVID-19 pandemic, we have been considering around the world to introduce applications to verify whether contacts toward infected persons have occurred, to assess the risk of infection and to provide “digital health certificates” using a variety of information. Since early 2020, in China they have been utilizing what we call “health passports”, and in the US and Europe, digital health certificates for international travel such as CommonPass and IATA Travel Pass, which show PCR test results and vaccination history, have started to be used. In this presentation, such current situations, including the status of CommonPass, will be reported.

(biography)

2006 Graduated from the University of Tokyo, School of Medicine  
2008 The University of Tokyo, Graduate School of Law and Politics,  
Department of Legal Training and Research (Completed 2011)  
2011 Project Researcher, Keio University School of Medicine  
(2012-) Project Assistant Professor, Keio University School of  
Medicine  
2015 Associate Professor, CBM Endowed Chair for Healthcare  
Innovation (AICA Industry), Graduate School of Economics,  
Nagoya University; Visiting Associate Professor, Center for  
Systems Medicine and Research, Keio University  
2017 Project Researcher, Center for Global Health Policy Research,  
National Center for Global Health and Medicine  
2018 Current position (Head of C4IRJ Project, World Economic

Forum; Specially Appointed Associate Professor, Keio University School of Medicine)

Member, Expert Review Group on Contact Confirmation Application, Cabinet Secretariat

Member of Trusted Web Promotion Council, Digital Market Competition Headquarters, Cabinet Secretariat, etc.

(Major publications (all co-authored))

“The Economics of NHI” (Nihon Keizai Shimbun, 2018),

“Dementia and Civil Law” (Keiso Shobo, 2018),

“Dementia and Information” (same, 2019),

“Dementia and Medicine” (same, 2020),

“Next Generation Medical AI: Integration with AI via Biological Signals” (Corona, 2021)

### Theme (3) **Digital Health Certificates and Integral Solutions for the Airline Industry**

Lecturer: Shuichi FUJIMURA, Visiting Research Fellow, JTTRI / Full-time Advisor, All Nippon Airways Co.



(Summary)

In Japan, vaccination against COVID-19 has been steadily underway, but in preparation for the full-scale resumption of international aviation, the introduction of digital health certification, which digitizes and stores proof of vaccination and, in its place, proof of negative tests and positive antibodies, has become an issue. In this presentation, it will be reviewed that the status of implementation in various countries and regions, and that look at the IATA Travel Pass as an example of an integrated solution, which is essential for airlines.

(Biography)

After graduating from the University of Tokyo, Department of Engineering, Faculty of Engineering, Department of Counting Engineering, he joined All Nippon Airways in 1980 as a jet engine mechanic. He studied at the Massachusetts Institute of Technology as a Fulbright Scholar and received a Master of Business

---

Administration degree in 1987. Since then, he has held a number of important positions at ANA, including General Manager of Network Strategy (2005-2009), Executive Officer and General Manager of London Branch (2009-2012), and Director and Senior Managing Executive Officer in charge of International Alliances (2018-2020). He is currently a full-time advisor to All Nippon Airways, Chairman of the Alliance Steering Committee of Star Alliance, Vice President of the Fulbright Japan Alumni Association, and Councilor of the Japan Taiwan Exchange Association.

In the Harvard Business School teaching materials ANA(A) and ANA(B), published by HBS Publishing in 2014, he appears as the protagonist who transforms All Nippon Airways from a domestic airline to an international airline.